

久重地域(久礼野・重倉地区)は高知市街地から北山に車で15分の場所にあり、自然に恵まれた里山で、ホテルの生息や、澄んだ空気に無数の星が輝き、有用植物の宝庫ともいわれています。

私たち久重地域に関わる小中高生で結成された久重 natural チームは、久重の魅力を地域内外に発信し、里山保全に取り組んでいます。また、2021年度は久重 natural チーム独自の SDGs(「持続可能な開発目標」)冊子を作成し、持続可能なまちづくりをめざして久重地域でできる身近な行動に取り組んできました。

2022年度も久重の里山の魅力をみなさんにお届けします。



ご協力いただいた方々

 <p>橋詰辰男さん 防災食レシピ 川の学習 ホテルの話 景観作物 久重の名所</p>	 <p>佐藤公子さん 防災食レシピ</p>	 <p>松岡晃さん (株)相愛 防災食レシピ</p>
 <p>トービアンさん 防災食レシピ 景観作物</p>	 <p>橋詰京欣さん 景観作物</p>	 <p>東川美知子さん 防災食レシピ</p>
 <p>加茂太一さん 久重自主防災連 合会 防災簡易トイレ</p>	 <p>橋詰茂さん ロープワーク</p>	 <p>渡邊高志先生 熊本大学教授 久重の傷ぐすり</p>

SDGsとは…
持続可能な社会のために、世界共通で取り組む17個の課題です。私たちは、久重でできる身近な活動にはどんなことがあるかを話し合い、これからもみんなで取り組んでいきます。

■ 参考文献 …… ユニセフ<<https://www.unicef.or.jp>>2023年閲覧

2022年度に取り組んだ目標!

 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	 <p>15 陸の豊かさを守ろう</p>

きゅうじゅう さとやま みりょく

久重の里山の魅力

さいはっけん

再発見プロジェクト! ①

エスティージーズ

~SDGsで

じぞくかのう

持続可能なまちづくり~




きゅうじゅう ナチュラル

久重 natural チーム

きゅうじゅう かわ い ものしら
久重の川にすむ生き物調べ



久重地域の川は、やがて海に流れていきます。2021 年度、(株)相愛さんから学んだ「川は循環している」「川に住む生き物の環境」「川にやさしくらし」について考えてみました。久重の川にすむ生物の種類を調べることで、その川がきれいか、汚れているか水質を知ることができます。(水生生物による水質検査)

2022 年度は久重地域の川にすむ生物を調べてみました。



学んだスコア値から、久重の川に生息するサワガニ、ホタルの幼虫、カワニナなどは、水質のきれいな川にいることが分かりました。高知市中心部を流れる鏡川の上流部の里山環境をこれからも守っていきたいです。久重の里山ですっとホタルといっしょにくらせるように、ホタル保全の活動に取り組んでいきます。

ホタル観察会に来た小学生親子のみなさんに私たちの取り組みや久重の魅力を発信しました。野草をいっしょに探したり、ホタルを観察したり交流をしました。



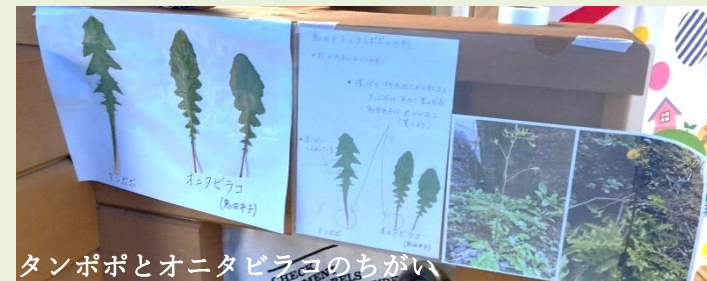
きゅうじゅう さとやま きず
久重の里山の傷ぐすり



久重地域は有用植物(昔から衣食住に活用されてきた植物)の宝庫です。熊本大学の渡邊先生から、久重地域に生息するオニタビラコを使った軟膏作りを教わりました。オニタビラコ(鬼田平子)は、オニタビラコの根や茎、葉を採取し、2~3週間乾燥させて細かくします。ヒマワリ油やチューリ種脂、蜜ろうの油分に入れ40分間加熱し、オニタビラコの成分を抽出して作りました。容器に入れ、軟膏が少し冷めてから、最後に香りづけに文旦や小夏の精油を加えました。



オニタビラコ



タンポポとオニタビラコのちがい



きゅうじゅうちいき はな 久重地域を花いっぱい!



地域の方とふれあうなかで「里山の景観作物*」として久重を花でいっぱいにしたい想いを知りました。ミツバチや小さな生き物も喜んでます。

*景観作物とは…休んでいる田畑を有効活用して植物を植えること。

きゅうじゅう しげん めいしょ し 久重の資源(名所)を知ろう



久重を元気にしたいと、第2期『久重のまちづくり計画』冊子の策定会議に参加しました。そのなかでも、「久重の主な資源」として地域には昔からさまざまなものが残ってきていることを知りました。「久礼野城跡」も興味深く、久重にお城があったなんて…みんなで探検したくなりました。詳しい話を聞いて、大切に語り継いでいこうと思いました。



ロープワーク(ロープの使い方)

ロープは、結んだり輪にしたりいろいろな使い方ができ、いざという時に活用できることを知りました。しっかり固定したり簡単にほどけたり、目的に応じて結び方を変えると便利です。基本的な結び方を何度か繰り返して経験することで、必要な場面で思い出すことができます。私たちの日常生活には活用場面はあまりありませんが、必要な場面や災害時にはみんなで協力し、知恵を出し合い、ロープ活用にも積極的に取り組みたいです。



かんい つか かた 簡易トイレの使い方



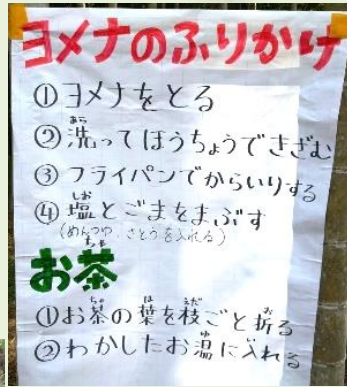
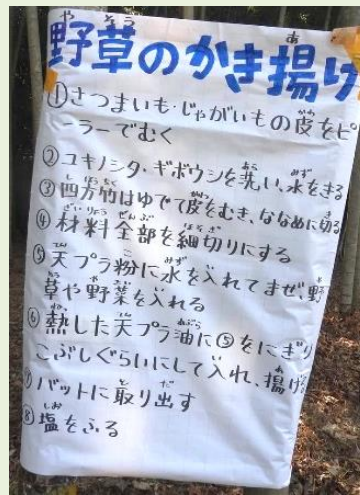
避難所開設訓練の時に教わる、簡易トイレについて実験をしながら使い方を学びました。災害時にトイレを使うことはとても大切なことだと言われます。安心してだれもが使えるようにすることは、みんなの理解も必要です。トイレの使い方に慣れるために、私たちも野外活動で使ってみました。匂いの解消に気をつけることが大事だと分かりました。



ほうさい 防災ミニデイキャンプ



久重地域で生息する有用植物(昔から衣食住に活用されてきた植物)や、食べられる野草を採取してレシピを学びました。今回は、竹で炊いたご飯、ムカゴご飯、ヨメナのふりかけ、野草のかき揚げ(ユキノシタ、ギボウシ、ヨモギ、ミツバ、四方竹、マコモタケ)を使い、チャノキを沸かしてお茶にしました。災害時にも地域の方といっしょに料理ができるので、いろいろな野草を使った料理を経験することは、いざというときに役立ちます。



ヨメナのふりかけ



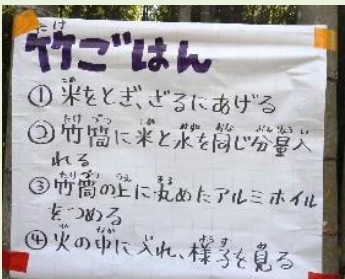
お茶



四方竹の天ぷら



野草のかき揚げ



竹ごはん ムカゴごはん



4

